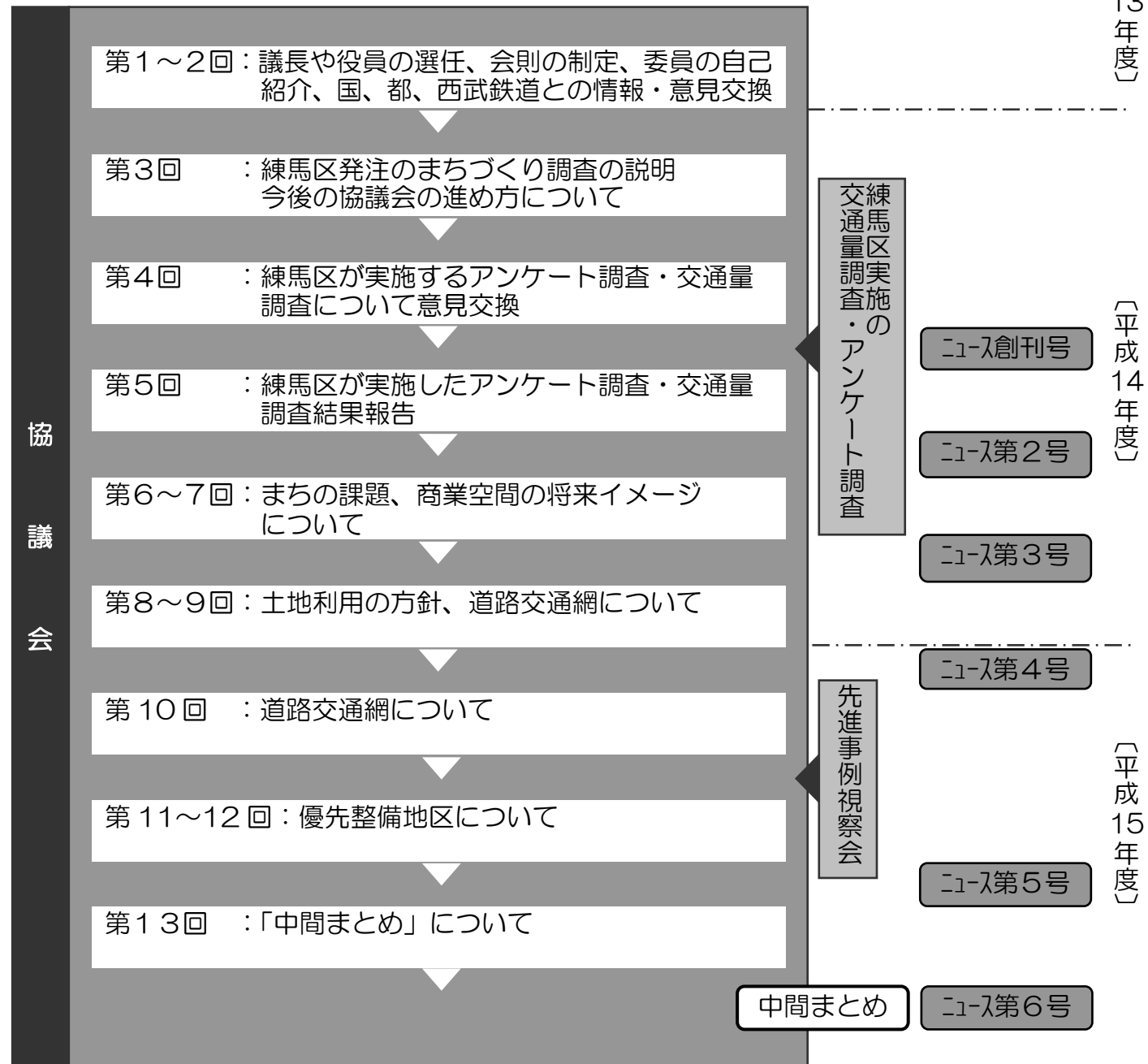


これまでの協議会

まちづくり協議会は、これまでに2年半にわたって、上石神井周辺のまちづくりについて議論を重ねてきました。



協議会

お問い合わせは、お近くの委員又は事務局まで・・・
 上石神井駅周辺地区まちづくり協議会 事務局
 練馬区都市整備部まちづくり第二課 宮坂、中沢 TEL 03(3993)1111 内 8627
 FAX 03(5984)1226
 E-mail machi2@city.nerima.tokyo.jp
 交通企画担当課 塩沢、桜井 TEL 03(3993)1111 内 8645
 FAX 03(5984)1226
 E-mail kotsu-k@city.nerima.tokyo.jp

かみしゃくニュース

発行 上石神井駅周辺地区
まちづくり協議会
発行日 平成16年3月

●中間まとめについて

協議会では、これまでの検討結果を「中間まとめ」としてとりまとめました。みなさんからのご意見をいただき、今後の検討に活かしていきたいと考えております。今回、アンケートはがきを同封しましたのでご活用下さい。

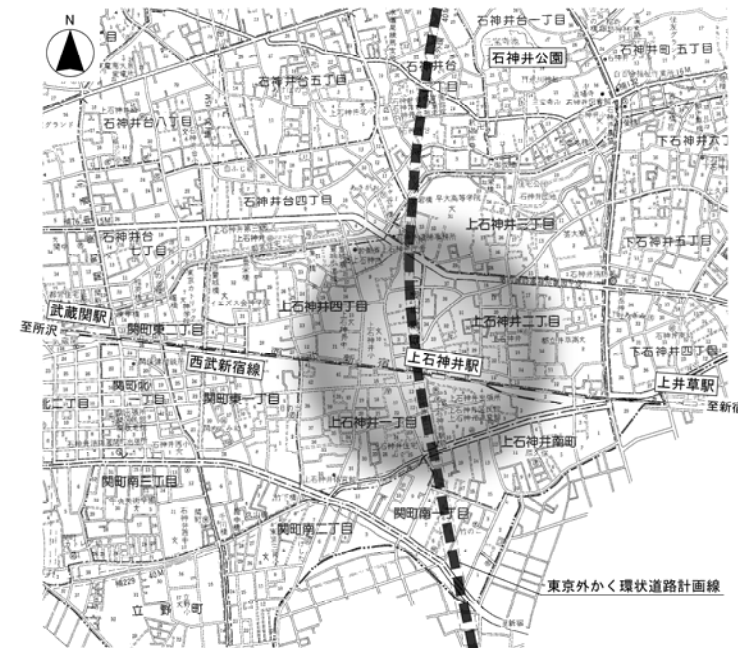
ニュースでは概要を掲載しますが、「中間まとめ」は事務局（区役所16階まちづくり第二担当課）等で閲覧することができます。

●まちづくり協議会について

上石神井駅周辺地区は、駅を中心として数多くの店舗が立ち並び商店街が広がり、公共施設や学校などが立地する練馬区南西部地域の拠点的なまちです。

しかしながら、駅周辺の地区は、幅の狭い道路に人・自転車・車・バスなどが混在しているほか、まちとして解決しなければならない様々な問題を抱えています。

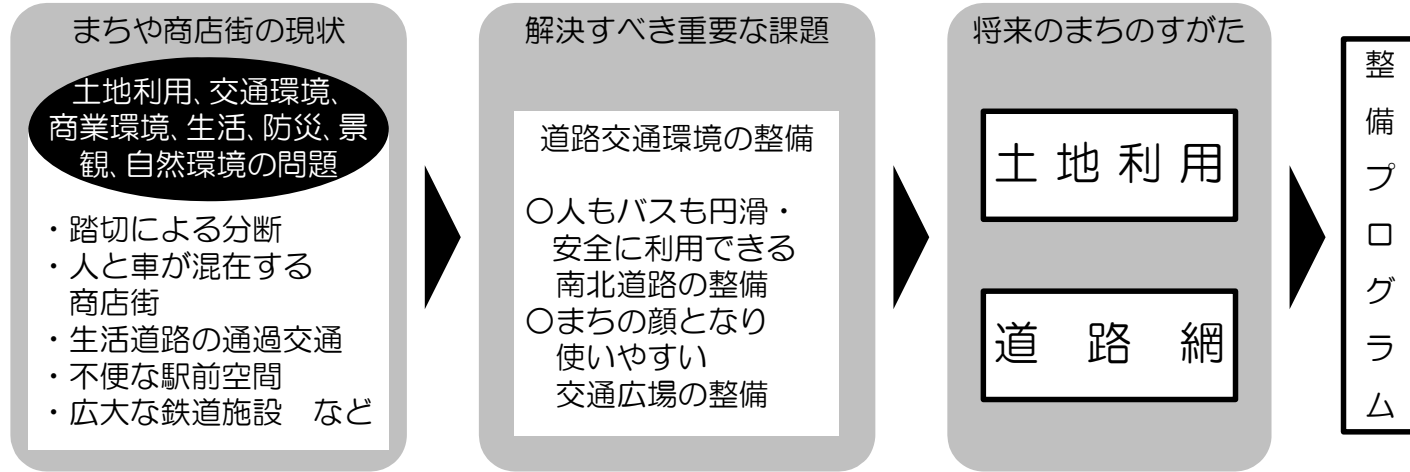
そこで、上石神井町会と上石神井商店街振興組合では、「上石神井駅周辺地区まちづくり協議会」を設立し、練馬区の協力を得ながら、まちや商店街が抱えている問題点や課題を解決し、より暮らしやすいまちづくりや商店街活性化のための方策を検討してきました。



詳しくは折り込み用紙を、アンケート調査票在中をご覧ください。

●まちづくりの考え方

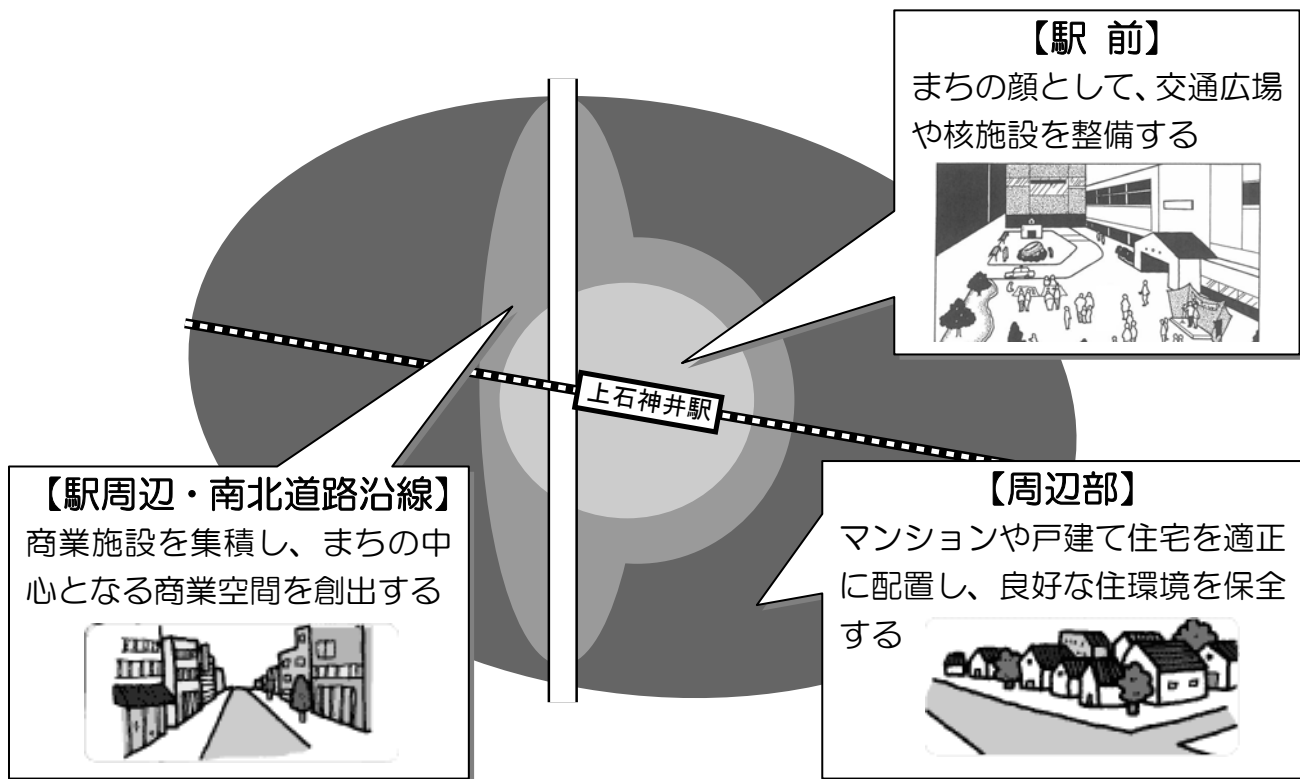
市街地の状況や、住民の意向をもとに、①南北道路の整備と②上石神井駅への交通広場の整備を中心としたまちづくりを進めていくこととしました。



土地利用

<土地利用の考え方>

上石神井駅や南北道路を中心とした、活気ある商業地の創出と、良好な住宅地の保全のために、以下のような土地利用を誘導します。



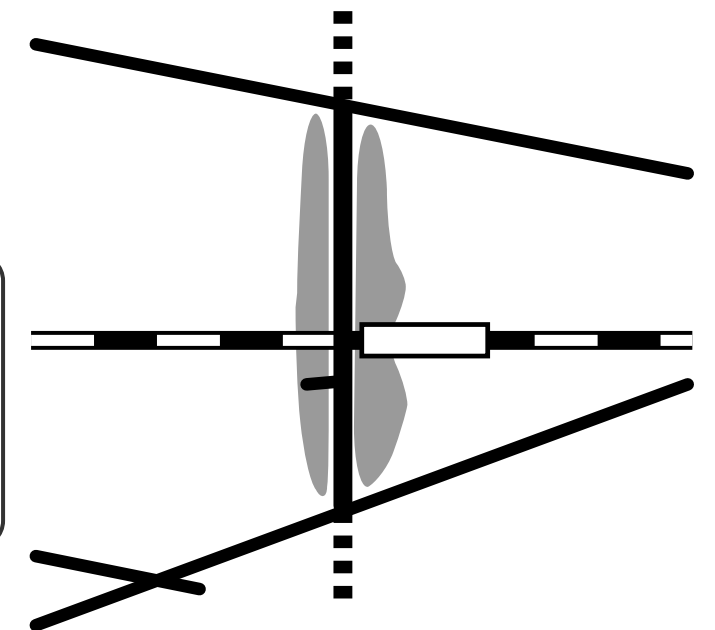
整備プログラム

整備促進地区について段階的に整備を進めていきます。

第1段階

核となる施設の整備

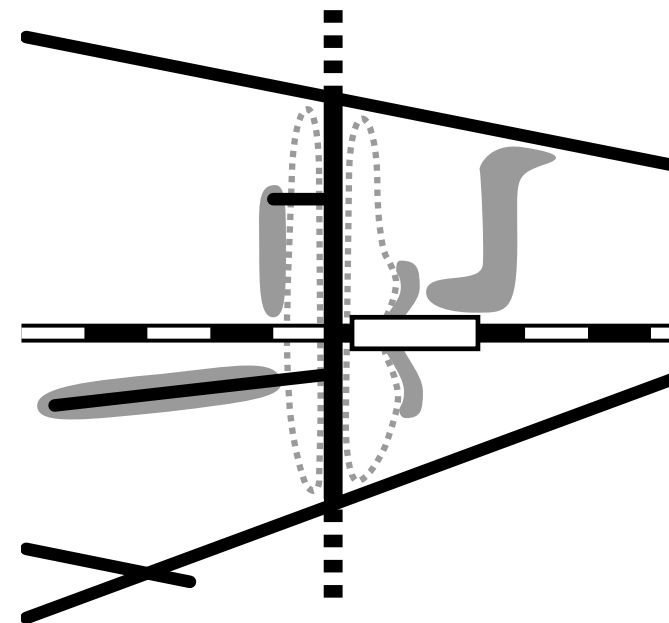
最大の課題である交通問題を解消するため、南北道路、交通広場および南北道路近隣の商店街を整備



第2段階

商店街を中心としたまちづくりの展開

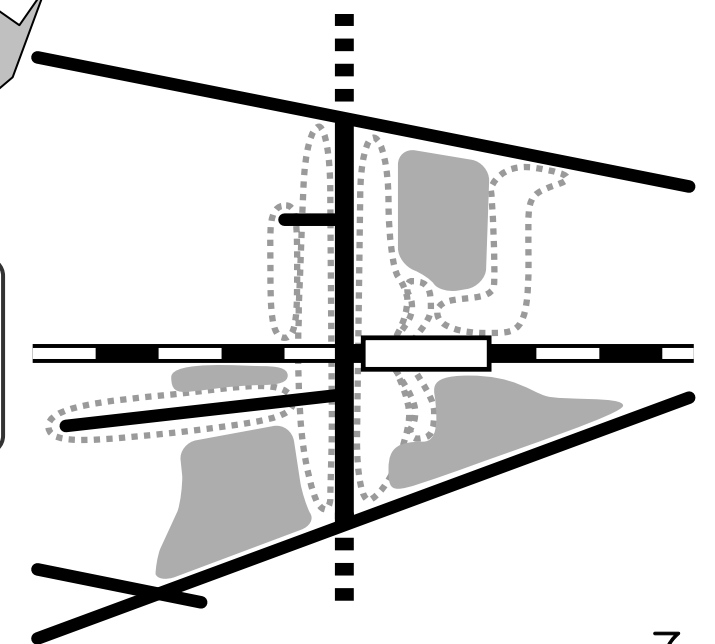
南北道路や交通広場の整備効果を活かした周辺の商店街の整備



第3段階

まちづくりの面的な拡大

商店街に隣接する地区の適切な土地利用の誘導



上石神井駅周辺将来構想(案)

上石神井駅周辺将来構想(案)は、土地利用の考え方と道路網の考え方をもとに、上石神井駅周辺地区の将来のすがたを表現したものです。

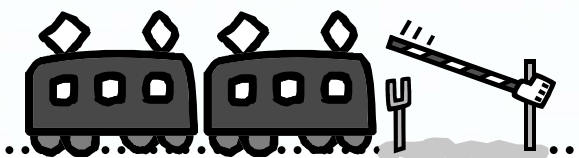


土地利用

- 商業・業務系土地利用
- 住宅系土地利用
- 文 公 教育施設・公共施設

道路網

- 幹線道路
- 生活幹線道路
- 主要生活動路
- 歩行者ネットワーク

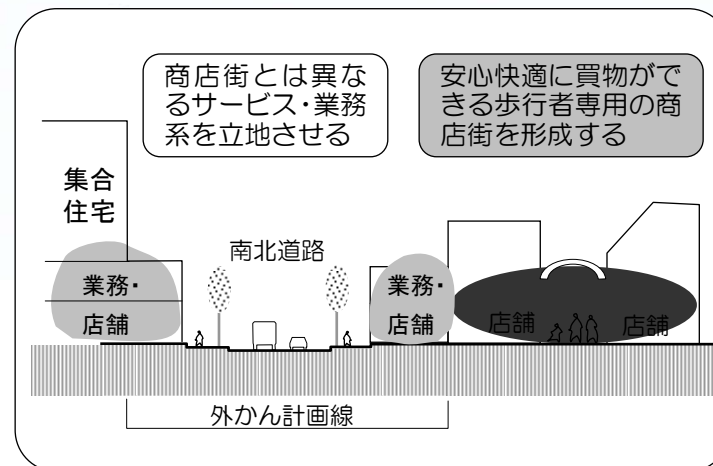


西武鉄道の踏切について

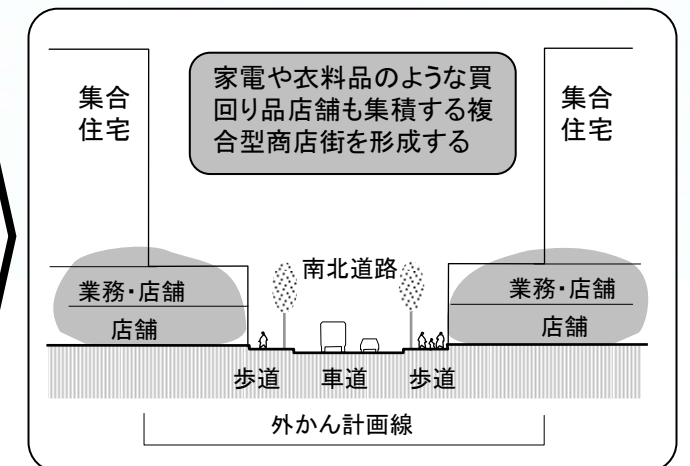
踏切による分断の解消は、この地区の大きな課題の一つです。

この構想では、周辺地域への影響を考慮し、この地域に最もふさわしい踏切解決策として鉄道の高架化を提案しています。

鉄道用地を効率的に利用する



南北道路沿線商業地形成の2つのパターン(検討中)



先行的に整備を進めるエリア

早急に解決すべき課題が多く、駅や商店街に近い利便性を活かして土地利用の転換を促進すべき上石神井駅周辺を、先行的に整備していきます。

整備促進地区

人と車の混在などの早急に解決すべき課題が多く、駅や商店街に近い利便性を活かし、効率的な土地利用に転換していくべき地区



緑が多く静かな低層住宅地を形成しており、公営住宅や学校等も多いことから、その良好な居住環境を守っていく地区

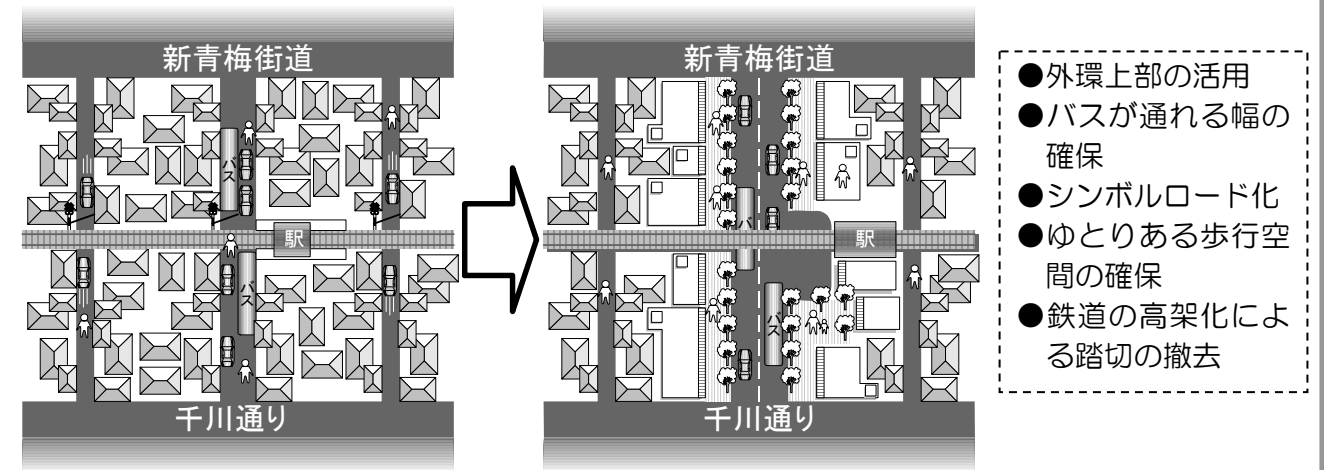
住環境保全地区

道路網

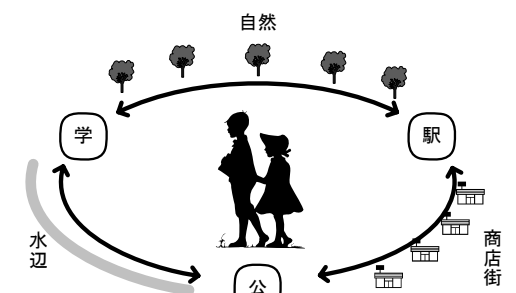
<道路網の考え方>

人と車が混在する生活道路の改善や、上石神井駅の利便性向上のために、道路網は、以下のような考え方で整備します。

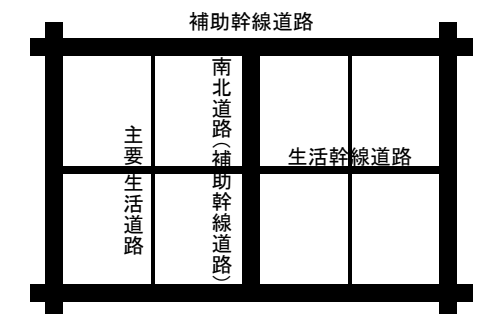
■生活道路の通過車を排除し、駅前のバス・自動車・歩行者の混雑を解消する南北道路を整備する



■水辺や商店街を活用し、自然資源や公共施設をつなぐ歩行者系ネットワークを整備する



■背骨となる南北道路を中心とした段階的な自動車系ネットワークを整備する



■鉄道とバスやタクシーとの乗り換えがしやすく、まちの顔となる交通広場を整備する

- 地元住民や来街者の利便性向上
- 乗り換え利便性の向上による交流の増大

